

◎賛否一覧表（賛否が分かれた議案）

	賛	反	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	成	対	服部正一郎	櫛毛隆行	日下田喜義	鶴見和弘	池上正美	渡邊隆	久保田武	大瀧和弘	藤田勝美	柳田尚宏	海老原宏至	七海朱美	柴惠	星野守	野沢達	春山則子	木村寿雄	中村和彦	荒川洋子	飯塚正	布施實
第15号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第16号	15	5	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	×	○	○	○	×	×
第19号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第21号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第28号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第29号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第31号修正動議	13	7	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	-	○	○	×	○	○	×	×	×
第31号(修正部分を除く)	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第32号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第33号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第34号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第36号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第37号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第38号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○
第39号	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○

※○=賛成、×=反対、議長（柴恵）は採決に加わりません。

予算審査
特別委員会の審査から

総務費

▼2款1項1目 一般管理費

問 事務職員用タブレット導入費について、何台導入するか。また、業務内容を伺う。

答 事務用タブレットを課長職以上51台導入し、通常時は事務処理用、庁内会議の際は、主に資料を参照する端末として使用する。

▼2款1項6目 企画費

問 デマンドタクシー運行事業費について、デマンドタクシーを何回運行し、乗客を何人見込んでいるのか伺う。

答 市内全域を5台で運行し、運行回数は1台当たり1日9往復であり、平成29年度は、土日祝を除く244日の運行を予定している。利用者数は、1日当たり75人の運行目標に基づき、1万8300人の乗車を見込んでいる。

問 シティプロモーション推進事業費について、シティプロ

モーション冊子作成業務委託費が前年度の500万円から300万円に減額になった理由とその内訳を伺う。

答 平成29年度については、「しごと」、「子育て」、「住まい」の3部門等について特化した内容とし、8ページ程度で各5000部の作成を考えているが、ページ数が半減することなどから、業務委託費を減額する。

▼2款1項8目 交通安全対策費

問 高齢者運転免許自主返納支援タクシー運行委託費について、免許の自主返納者は何人予定し、何社のタクシー業者に委託するのか。また、利用者に対し、運行時間の制限はあるのか。

答 平成29年度の自主返納者は120人と見込んでおり、市内に事業所を有する3社と協議を進めている。運行時間については、委託先のタクシー事業者それぞれの業務時間となる。



商工費

▼7款1項2目 商工振興費

問 まちなか新設出店にぎわい創出支援事業の事業計画と目標を伺う。

答 空き店舗等を利用し新たに事業を始める方に、店舗改装費や家賃の一部を助成する。

改装費は、対象経費の30%、60万円を限度に、家賃は、敷金・礼金等を除く家賃の50%、月3万円を限度で、開業した月から12か月分を補助する。

平成29年度は、新たに出店する事業者を2件と見込んで予算計上した。

問 チャレンジショップ支援事業補助金について、事業計画について伺う。

答 真岡商工会議所が、空き店舗を利用し運営するチャレンジショップを財政面で支援するもので、改装費と家賃の一部を助成する。

改装費は、対象経費の75%、500万円を限度に、家賃は、敷金・礼金等を除く家賃の75%、月15万円を限度で補助する。設置場所は、中心市街地の多くの来客が

望める通り沿いの1店舗を改修し、5坪から10坪程度の区画を2から3個作り、新規創業を目指す方に貸し出すことを考えている。

問 真岡バル(まちなか飲食店食べ歩きイベント)について、飲食店の対象店数を含む1件当たりの補助金や開催の期間など、予算の内容を伺う。

答 真岡の中心市街地をスペインの「バル街」に見立て、チケットとバル街マップをもとに、各店を食べ歩きイベントを開催し、飲食店の活性化と中心市街地の魅力向上を図る。

予算の内容は、周知用のポスター、チラシ、チケット及びマップなどの作製費が62万円、ホームページ開設などのPR費用が15万円、会場のメインステージでの集客用イベント費用及び企画運営費が58万5000円などである。

問 新産業団地適地調査及び基本構想作成業務委託費について、業務委託の主旨・内容を伺う。

答 調査の主旨については、産業振興策の核となる新たな産業団地の可能性と方向性を多方面から分析し、将来的な開発地区の位置づけや適地の抽出、優先順位づ

けなどを行うものである。主な内容については、本市における産業特性と課題の検討、産業開発適地の抽出に際しての条件の整理、適地の評価結果と開発検討地区の現況と課題の分析、開発検討地区の基本構想作成等を行うものである。

土木費

▼8款4項4目 公園管理費

問 公園内防犯カメラ設置工事費について、公園内に設置する防犯カメラの内訳を伺う。

答 防犯カメラを設置する公園は、台町地内の城山公園、蓮沼公園、大谷台町地内の大谷台公園、ほか16公園で合計19か所である。設置する台数は、城山公園に11台、大谷台公園ほか15公園に各3台で計48台、蓮沼公園ほか1公園に各2台ずつで計4台、合計63台を設置する計画である。

問 市道241・105号線街路樹植え替え工事費について、それぞれの道路の樹木の植え替えの整備内容を伺う。

答 市内の真岡工業団地総合管理協会がある交差点から、北側に向かって約0・4kmに植樹されているソメイヨシノ75本のうち25本を伐採し、市道105号線では、下高間木一丁目と上高間木三丁目との境となる交差点から北側に向かって約1・3kmに植樹されているケヤキ146本のうち44本を伐採し植え替える計画である。

自治体負担金の合計金額は、4740万円であり、その内訳は、県が2500万円、市町の合計が2240万円である。1市町当たりの金額は、原則80万円であるが、スタートとフィニッシュ地点となる市町については、観客等が集まることが予想され、経済効果が見込まれることから、負担金が1・5倍の120万円であり、この金額が本市の負担分である。

教育費

▼10款5項1目 保健体育総務費

問 ツール・ド・とちぎ開催負担金の根拠について伺う。

答 平成30年3月9日から11日の3日間にわたり、栃木県内を舞台とした国際公認のサイクルロードレース大会である第2回「ツール・ド・とちぎ」が開催される予定で、その中で本市の井頭公園がフィニッシュ地点となる予定である。

自治体負担金の合計金額は、4740万円であり、その内訳は、県が2500万円、市町の合計が2240万円である。1市町当たりの金額は、原則80万円であるが、スタートとフィニッシュ地点となる市町については、観客等が集まることが予想され、経済効果が見込まれることから、負担金が1・5倍の120万円であり、この金額が本市の負担分である。



▼7款1項3目 観光費

問 観光協会補助金のうち、「真岡市まちのお休み処めん茶屋」関係の987万1000円の内訳、算出根拠について伺う。

答 収入については約276万円を見込んでいる。支出の内訳については、人件費が約673万円、警備費が6万円、光熱水費が約92万円、材料費が約221万円、リース料が12万円、広告宣伝費等が20万円、食器、調理器具一式が90万円、商品企画アドバイザー派遣代が約75万円であり、支出合計は約1190万円である。

これらの収入及び支出の差引額である913万円の、消費税を含めた約987万1000円が、運営に関する補助金となる。

